

放課後子ども教室訪問 田村市 瀬川めだかの学校

◎訪問日：令和3年10月6日（水）

◎活動場所：田村市立瀬川小学校

田村市瀬川めだかの学校は、平成19年度に開設された放課後子ども教室です。田村市立瀬川小学校の第1学年から第6学年までの33名が登録しています。年間180日活動し、月曜日から金曜日まで14：30から15：45までが主な活動時間です。瀬川めだかの学校には、コーディネーターさん1名と5名の安全管理員さんが登録をされていて、毎日3～4名の指導員が運営に当たっています。活動場所は、旧幼稚園を活用した活動室、体育館、校庭です。5、6年生は特設活動がありなかなか参加できませんが、参加できるときは1年生から6年生が混ざり合って、遊んでいます。自然と異学年交流ができています子ども教室です。

教室の環境



【支援員さんと一緒に作ります】

子どもの活動



【全校児童と一緒に遊びます】

学校が終わると、ランドセルや水筒をロッカーと籠にしまい、まず宿題を済ませます。訪問をしたときには、児童は一生懸命宿題をやっていました。指導員さんは、全員が宿題を終わらせるように最後まで支援しました。訪問当日は、活動室で低学年の児童が指導員さんとともに、折り紙を使って籠づくりをしていました。体育館では、1年生から6年生が一緒になってドッジビーで遊んでいました。低学年の児童に対して、高学年の児童が優しく接しながらよく遊ぶ事ができていました。また、小さい児童は上級生の話をよく聞いていました。めだかの学校の異学年交流の遊びを通して、遊びのルールや友達との関わり方を学んでいました。

瀬川めだかの学校では、活動場所に指導員さんがそれぞれ配置され、安全な環境のもと活動しています。学校との連携がしっかりしていて、緊急時や事故発生時にはスムーズに対応する事ができます。下校時には、瀬川小学校の職員、めだかのスタッフが全員昇降口に集まって下校します。設立当時には100人以上いた児童も現在は33人。でも、互いを思いやりながら優しく元気に過ごしている子ども達を学校の職員とスタッフがしっかり支える子ども教室でした。

活動の支え



【帰りはみんな一緒にごあいさつ】

瀬川めだかの学校は、子どもも大人もみんな手を取り合いながら、元気で優しさに包まれて、充実した毎日を送っている子ども教室です。